

食中毒・集団胃腸炎の行政検査を受けられた方へ

当所では、食中毒および集団胃腸炎の発生時に、保健所からの依頼に基づき、病原微生物および原因物質の検査を行っています。提供された検体の検査結果は各保健所を通してお返ししています。

本検査でご提供いただきました検体やそれに付随の情報につきましては、検査終了後、研究目的で利用させていただくことがあります。これらの研究は当所倫理審査委員会の承認を受けており、ご提供いただきました情報は加工を行い、ご提供者の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

研究題目	食中毒原因究明調査により分離されたヒト由来常在性大腸菌の表現型及び遺伝子型の多様性に関する基盤研究（2401-02）
1. 研究対象者	平成25年4月以降に食中毒原因究明調査で当所に検体が搬入され、検査で大腸菌が検出された調理従事者を研究対象者とします。
2. 研究概要	大腸菌はヒトの腸管内常在細菌ですが、これらの一部は腸管内または腸管外でヒトに感染症を引き起こします。それらの存在を正しく理解することは、他者への拡散や自身への感染を予防または低減させる上で重要な情報となります。しかしながら、健康なヒトが保有する大腸菌の系統的特徴や、そこに内在する病原性リスクと薬剤耐性分布に関する情報はあまりよくわかっていません。そこで本研究では、健康者が保有する大腸菌に内在する病原性および薬剤耐性を評価することを目的とし、健康者由来大腸菌株の病原性と薬剤耐性に関連する遺伝子の網羅的な解析を行います。
3. 研究期間	令和6年2月7日～令和8年3月31日
4. 利用又は提供を開始する予定日	令和6年2月7日
5. 研究に用いる試料・情報の種類	試料：便 情報：年齢、性別
6. 外部への試料・情報の提供	共同研究機関へは、年齢、性別の情報を提供します。仮名加工情報は、当所の個人情報取扱事務管理者が保管・管理します。
7. 研究責任者	細菌課・主幹研究員 中村寛海
8. 共同研究機関	宮崎大学 井口 純

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、支障がない範囲内で、倫理審査申請書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、検体・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者の方に不利益が生じることはありません。ただし、中止を希望されたとき、すでに研究結果が公表されていた場合は、結果を破棄することができない場合がありますのでご了承ください。

「お問い合わせ先」

大阪健康安全基盤研究所

細菌課

電話番号：06-6972-0070

mail：hirom-nakamura@iph.osaka.jp